

かほく

ワークシート

問題

- ①記事を読み、□に適切なことばを書き入れて、見出しを完成させましょう。

いい□ いい□ いい□□
 (漢字1字) (漢字1字) (漢字2字)

- ②質・量ともに「日本一」と言われるアカガイは、どこでとれたものですか。
 ()に当てはまる地名や数字を書きましょう。
 ()市の()漁港 約()キロ沖合

- ③アカガイは大変高価な食材です。スーパーや魚屋では、ほとんど見ることはできません。新聞だけでなく、いろいろな資料を活用して、閑上のアカガイが、どこでどのように消費されているのかを調べてみましょう。

(小学校高学年/社会科・総合的な学習)

いい□ いい□ いい□

名取・閑上 アカガイ漁始まる

東日本大震災で被災した名取市の閑上漁港沖で4日、質・量ともに「日本一」と称されるアカガイの今季の漁が始まった。台風15号の影響が心配されたが、量も実入りも例年並みで、浜は約2カ月ぶりの水揚げに活気づいた。

「JF永福丸」(4.9トﾝ、2人乗り組み)など9隻が出漁し、漁港から約5キロ沖合で計約350キロを採った。色味が良く、実入りも順調だといい、1キロ当たり4830円~1621円と昨季の終盤よりも高値が付いた。東京・築地などに出荷される。

閑上漁港沖は津波でアカガイが生息する泥が流されており、台風でうねりがあるとアカガイに影響が出やすいとされる。泥の量は徐々に戻りつつあるが、震災前の状況になるにはさらに数年かかるという。

永福丸船長で、県漁協閑上支所運営副委員長の沼田洋一さん(58)は「台風の影響を覚悟して漁に出たが、閑上のアカガイの状態はいい。皆さんに美味しいアカガイを食べてもらいたい」と話した。

アカガイ漁は来年6月末まで続く。



水揚げしたアカガイを軽トラックに積む漁業者